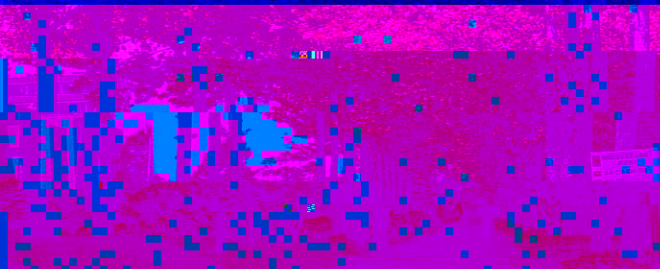
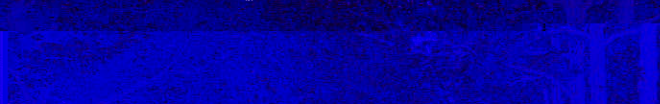




広島大学は
真剣に学ぶあなたを
応援します



広島大学

男女共同参画推進室

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/sankaku/>

女性研究者支援プロジェクト研究センター

<http://www.capwr.com/>

E-mail capwr@hiroshima-u.ac.jp

TEL/FAX 082-424-4355



広島大学長 浅原利正

広島大学は、社会に貢献する優れた人材の育成と人類の発展に資する科学研究を推進し、国際社会で高い評価を得る大学を目指しています。平成18年10月17日には、6つの基本方針を含む「広島大学男女共同参画宣言」を行いました。現在、学部や大学院に進学する女子学生の割合は、理系・文系を問わず、高水準です。職員における女性の割合も国立大学の平均を上回っていますが、教員における女性の占める割合は高くなく、これを高めることが現在の課題です。広島大学では、修学・就労環境の充実と、優秀な女性の人材活用に一層努め、男女共同参画を推進していきます。



広島大学 理事・副学長(教育担当) 上 真一

男性主体だった学問や職業領域に女性の進出が目覚ましい。練習船による実習などもあるためか、私の学生時代には水産学を専攻する女子学生はほとんどいませんでした。しかし、今では女子学生が約半数に達しています。そのため今の練習船には、女性専用のトイレ・風呂を設置しました。男女共に等しく教育を受ける権利があります。昔のような、女性だから我慢なさい、のような考えは今では通用しません。広島大学は、男女が共同して社会を担うことが重要であると考えており、その実現に向けた教育システムを構築させてゆきます。もちろん、船舶での女子学生の活躍を奨励しています。もちろん、男子学生にも大いに期待しています。



広島大学 副理事(男女共同参画担当) 相田美砂子

男女共同参画は、女性優遇を目的としているのではありません。また、女性を単なる労働力として無理に働かせるためのものでもありません。男女が社会の対等な構成員として、さまざまな利益を均等に享受し、そして世に責任を担う、というあたりまえのことを意味しているだけです。広島大学では、みなさんがそれぞれの個性と能力を伸ばし、より高めあう教育環境を構築しています。男だから、とか、女だから、ではなく、自分にふさわしいもの、自分がやりたいものを広島大学でみつけ、社会に、そして世界に羽ばたいていった先輩がたくさんいます。みなさんも、自分なりのユニークな人生を歩むきっかけを、広島大学でつかんでください。

卒業生からのメッセージ



坂田 桐子 Kiriko Sakata

写真:筆者中央

好きなことが続くと、大変でも辞めがは来ない。

私は、広島大学総合科学部を卒業して大学院生時代を過ごした後、幸いにも広島大学で助手として採用され、それ以来ずっと広島大学で社会心理学の研究と教育に携わってきました。現在は、特に集団における人間行動の仕組みや、集団をうまく運営できるリーダーシップのあり方などについて研究しています。女性研究者支援（CAPWR）の活動も、策

力ながらお手伝いしています。やりたいことが多い割に時間が足りなくて多忙な毎日ですが、学生と研究の語で盛り上がる時や、目指す研究結果が得られた時などは、本当に充実感や達成感がありますね。好きなことを極める道は、大変ですが喜びも大きいです。学生時代は、とにかく自分の好きなことにとことんチャレンジしてみてください!

忙しいときでも平常心で。頼りにされる薬剤師になりたい。

薬剤部



掬橋 久美 Kumi Nejihashi

滋潤会徳川病院 薬剤師
(2002年3月 医療薬学総合研究科修了)

在学中の実習でお世話になった病院の薬剤師さんが、病棟スタッフや患者様からとても頼りにされているのを見て、「やりがいがあるんだろうな! 私もあんな風になりたい!」と思ったのがきっかけで、この仕事に就きました。今は、薬の調剤や患者様への指導、医薬品情報管理

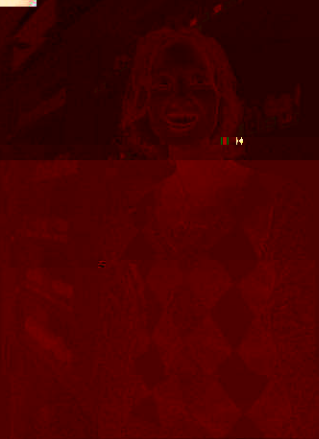
の業務などが主な仕事です。薬剤師の業務は多岐にわたるので、学生時代に比べて、専門分野を学ぶことが少なかったことで、就職してから改めて、責任の大きな仕事だと実感しています。心掛けていることは信頼関係です。患者様やスタッフに頼まれたことは、どんなに忙しくても、一つ一つ丁寧に、誠意を持って対応します。そう努力することで、実習のときに出会った「頼りにされる薬剤師」に少しでも近づけると信じて頑張っています。また患者様とのコミュニケーションも大事にしています。退院された方が、近況の報告や相談に来てくださると嬉しいです。

好きな何かを見つけて打ち込めば、きっと“自分磨き”ができる。



中学生のころから英語が大好きで、外国とつながりのある仕事を探して

楽しんで働くことで、自分の存在価値が見つかる。



各方面で活躍する先輩たち

広島大学出身の女性研究者が、多彩な分野の第一線で活躍しています。
多くの先輩たちの中から、新聞に掲載されたお二人をご紹介します。

南極 ネット講義 広島

2008.1.13 中国新聞

2009.1.12 中国新聞

あなたの輝く未来のために

広島大学は、「広島大学男女共同参画宣言」のもと、男女共同参画に取り組んでいます。ワークライフバランスの実現のために、あなたの、今、をサポートします。

教育・学生生活支援

フェニックス奨学制度



学力が優秀でありながら経済的理由により、大学進学が困難な方を支援するため、本学独自の新たな奨学制度として「広島大学フェニックス奨学制度」を実施しています。



クラブ

平成19年度全日本バレーボール選手権で広島大学バレー部女子が初戦を突破。昨年のV・プレミアリーグ覇者久光製薬を相手に善戦を見せました。バレー部の他にも、様々な課外活動で多くの女子学生・院生が活躍しています。

一人ひとりのキャリアデザインをサポート

キャリアセンター



大学生活を通じて、「どう生きるか」を考えてほしいという願いから、1年次から活用できる様々なキャリア支援プログラムを企画・実施しています。また、就職活動にあたって、必要な情報提供や、個別支援も充実しています。

広島大学ホームカミングデー記念式典

広島大学構成員と卒業生との交流

校友会



在学生を含む広島大学構成員と、卒業生をはじめとして広島大学に関与したすべての方を校友とし、本学との連携のもと、国際的に貢献し、また地域に貢献する広島大学コミュニティを育むことを目的とし、様々な事業を行います。

安全な学内環境

ハラスメント相談室



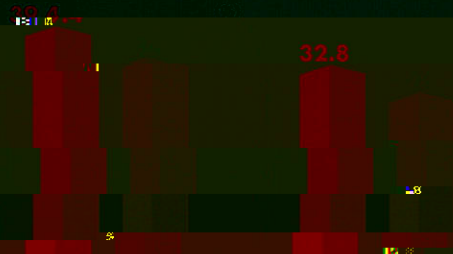
ハラスメント相談室は、ハラスメント問題が生じたときに迅速かつ適切に対応するための組織です。専門の相談員が被害を受けた人と一緒に解決の道を探ります。

女子学生の比率

広島大学では、国立総合大学の中では学部や大学院に占める女子学生の割合が極めて高い水準であり、大学院についてはなお増加傾向にあります。優れた女性研究者の育成とリーダーとしての資質向上を図るための支援も充実しています。

学生就業力プロジェクト

フロントランナー



工学部

経済学部

文学部

理学部

大学院



女性研究者支援プログラムの育成

リーダーシップを育む広大型女性研究者支援

「両立支援環境形成プログラム」と「意識改革プログラム」を基盤として、「人材育成リーダーシッププログラム」を遂行しています。



次世代育成の取り組み

研究者をめざす女性を増やすために、女子学生・若手女性研究者のインターンシップ制度やキャリアパス支援を充実させています。

